Haier 二槽式電気洗濯機　取扱説明書

取扱説明書

ハイアール二槽式電気洗濯機（家庭用）

品番 JW-W80E

Haier〈ハイアール〉

保証書別添

- このたびは、お買上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「保証書」とともに大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

も・く・じ

廃棄時にご注意ください

- 2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄する場合、収集・運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ（後日のために、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	JW-W80E
販売店名	☎(　　)　ー		
お客様ご相談窓口	☎(　　)　ー		

ハイアールジャパンセールス株式会社　〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー7F

12.10

安全上のご注意

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※お読みになった後は、次にお使いになる場合にすぐ見られるところへ大切に保管してください。

この家庭用二槽式電気洗濯機は、よごれた衣服などを洗う目的や衣服などを脱水する目的に使用するものですので、これ以外のご使用は絶対しないでください。
この用途以外でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

表示について

ここに表示している『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
『警告』『注意』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示。
	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示。

■表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。

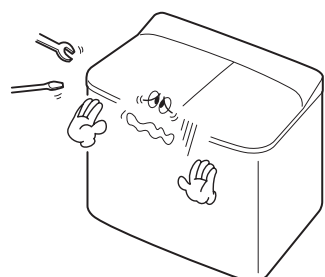
△記号は、「警告や注意を促す」内容のものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)を示します。

⦸記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示します。

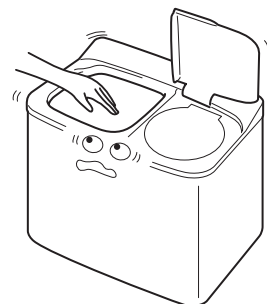
●記号は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)を示します。

⚠警告

改造は絶対しない。また、修理技術者以外の人が分解したり修理しない

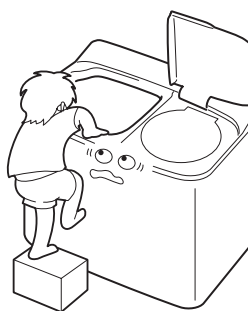
● 火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、メーカー指定のお客様修理ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

回転中の洗濯・脱水槽に手を入れない

● 洗濯・脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物や洗濯・脱水槽に手を触れないでください。ゆるい回転でも、洗濯物が手に巻きついてケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。

接触禁止

⚠警告

幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない

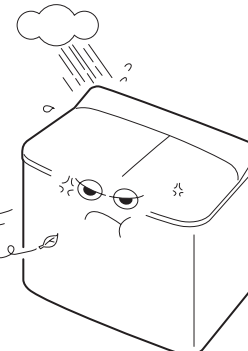
● 洗濯機の近くに台などを置かないでください。洗濯・脱水槽の中に幼児が落ちてケガをしたり、おぼれたりするおそれがあります。

禁止

本体各部に直接水をかけない

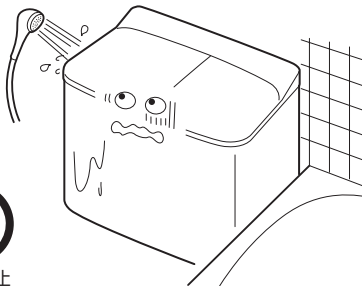
● ショート・感電のおそれがあります。

水かけ禁止

風雨にさらされるところには、据え付けない

● 風雨にさらされる場所、湿気の多い場所には据え付けないでください。感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

水ぬれ禁止

浴室・シャワー室などには、据え付けない

● 感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

浴室での使用禁止

アースを確実におこなう

● 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

アース

引火物を洗濯・脱水槽に入れない

● 洗濯・脱水槽には絶対に、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物を入れたり、近付けたりしないでください。爆発や火災のおそれがあります。

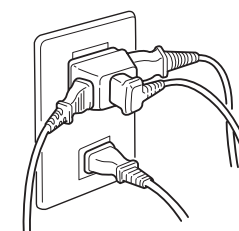
禁止

火気を近付けない

● 火気を近付けたり、火のついたロウソク・たばこ・蚊取り線香・熱いヤカンなどを置かないでください。火災や変形の原因になります。

火気禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用する

● 他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で

交流100V以外では、使用しない

● 火災の原因になります。

禁止

電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない

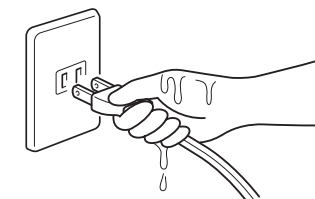
● 電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

● 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない

● 感電やケガをするおそれがあります。

プラグを抜く　ぬれ手禁止

電源プラグを本体で押し付けない

● 傷つき、過熱発火のおそれがあります。

禁止

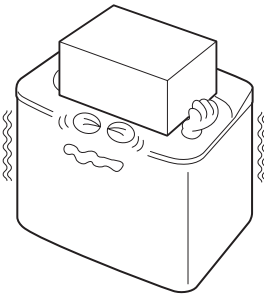
電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く

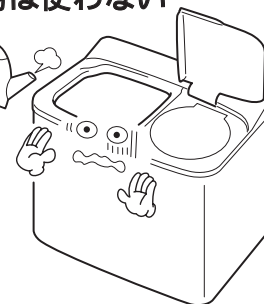
● 火災の原因になります。

ホコリを取り除く

⚠注意

洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せない

●変形・破損によりケガをするおそれがあります。

洗濯時、50℃以上のお湯は使わない

●プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の原因になります。

運転中、洗濯機の下に手や足を入れない

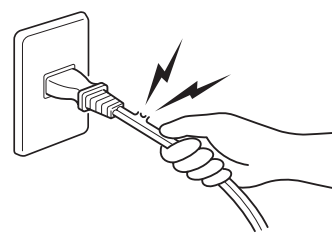
●回転部があり、ケガをするおそれがあります。

脱水時は必ず、脱水押さえぶたを取り付ける

●洗濯物が飛び出してケガをするおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く

●コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

プラグを持つ

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントより抜く

●ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

防水性のマット・シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水をしない

●洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してケガをしたり、洗濯機・かべ・床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。

（足拭きマットなど固くて厚いもの、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、スキーウエア、自転車・バイク・自動車カバー、寝袋など）

禁止

■使用上のお願い

ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。

●万一の水もれを防止するためです。

脱水槽ぶたが破損したり、脱水中に脱水槽ぶたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

●ケガの原因になります。

雷が鳴り出したら、洗濯機やコンセントにはさわらないでください。

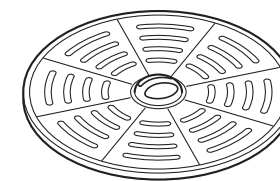
●感電するおそれがあります。

各部の名称

操作パネル

※図はイメージです。製品とは、若干異なることがあります。

本体

付属品

脱水押さえぶた
P7 参照

糸くずフィルター
P13 参照

洗濯前の準備

洗濯機の準備

1 排水ホースを、排水口に差し込む

P16 参照

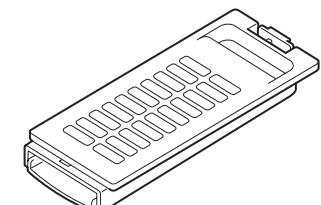
- 据え付け時や初めて使用するとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場での性能テストの残水で故障や不良ではありません。

2 給水ホースを給水口に差し込む

- 給水ホースは、市販品（内径15mm）を販売店でお買い求めください。
- 接続部より水もれがないか確認してください。

3 アースを取り付ける P15 参照

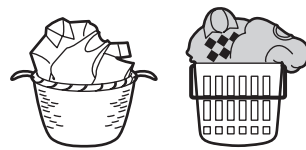
4 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、根本まで確実に差し込んでください。

衣類の準備

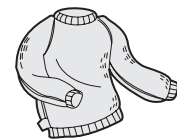
■ポケットに所持品が入っていないか確かめる

- 鍵やコインなどが入っていると衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。必ず取り出してください。

■衣類の絵表示に従って洗う

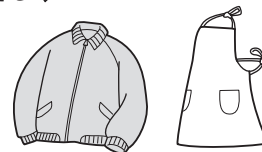
■色物と白物、厚物と薄物を分けて洗う

■大きく軽い洗濯物は、少しずつ洗濯する

- サイズが大きく軽い洗濯物は水に浮きやすく、一度にたくさん洗うと、給水時に水が飛び散って床をぬらしたり、脱水時にはみ出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■毛玉や糸くずの出るものは、裏返しにする

■ほこりやどろ、砂などがついた服は前もってはたき落とす

- 衣類にどろなどがついたまま洗濯すると、洗濯機の故障の原因になります。

■エプロンなどのひもは結び、ファスナーは閉める

- 衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■傷みやすい衣類は、洗濯ネットに入れる

- レースのついた（ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊の薄物など）傷みやすい衣類は、市販の洗濯ネットに入れてください。

- ワイヤー入りのブラジャーは必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れてください。ワイヤーが飛び出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

洗濯量と洗剤量

洗濯物について

- 一度に洗う量は、規格以下の容量で洗ってください。本機の最大容量は、8.0kgです。
- 洗濯物の量が多いときは、無理をせずに何回かに分けて洗ってください。

洗濯物の質量の目安

作業着上・下（混紡 約800g）

パジャマ上・下（木綿 約500g）

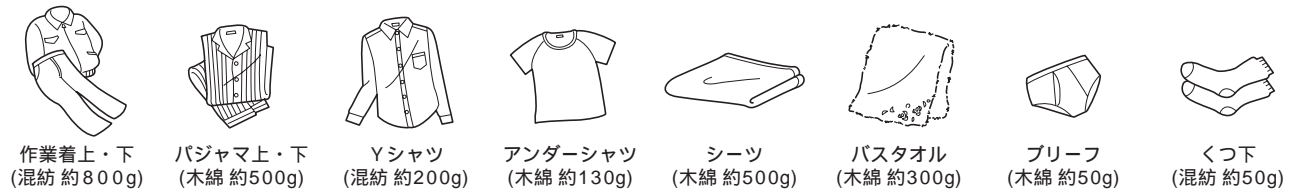
Yシャツ（混紡 約200g）

アンダーシャツ（木綿 約130g）

シーツ（木綿 約500g）

バスタオル（木綿 約300g）

ブリーフ（木綿 約50g）

くつ下（混紡 約50g）

お知らせ

- 洗濯容量は、JIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のものです。
- 洗濯物の厚さ、大きさ、種類により洗える量が変わります。

洗濯量と洗剤量の目安

洗濯量（目安）	水位（水量）	コンパクト洗剤			粉石けんなど	液体洗剤
		水30Lに対して25gのタイプ	水30Lに対して20gのタイプ	水30Lに対して15gのタイプ	水30Lに対して40gのタイプ	水30Lに対して40mlのタイプ
6.0kg～8.0kgまで	高（約70L）	約58g	約47g	約35g	約93g	約93ml
4.0kg～6.0kgまで	中（約60L）	約50g	約40g	約30g	約80g	約80ml
4.0kg以下	低（約50L）	約42g	約33g	約25g	約67g	約67ml

家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量（水30Lに対し○○g）が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

お知らせ

- 計量スプーンのついていない洗剤は、上の表を参考にしてください。計量スプーンの大きさは、洗剤メーカーや銘柄によって異なります。計量スプーン1杯が約37g以外の場合は、製品の水量表示に合わせて洗剤量を計算し、ご使用ください。
- 汚れが多い場合は、洗剤量を調整してください。
- 洗剤は入れ過ぎないようにしてください。すすぎ不十分になり、衣類に残ったり変色の原因になります。特に軽い汚れのときは、液体洗剤では泡が多くなりますので、洗剤を入れ過ぎないようにご注意ください。（軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。）

洗濯のしかた

洗い

1 洗濯物に応じて、水流・排水切換を「標準」または「ソフト」に合せる

2 水位レバーを「高」に、注水切換レバーを「洗濯側」に合わせる

3 使用する水位線より10cm程度低めに注水する

4 水をかくはんしながら洗剤を入れ、よく溶かす P6 参照

5 洗濯物を入れ、使用する水位まで注水する

6 洗濯タイマーを洗い時間に合わせる

7 洗いが終了したら、水流・排水切換を「排水」に合わせる

お願い

洗濯物の量が少ない場合は、水流が強くなり水が飛びはねることがあります。その場合は、洗濯槽ぶたをセットしてください。

■洗濯量と水位・水流・洗い時間の目安

洗濯物		水位	水流	洗い時間
種類	洗濯量			
化繊（薄い）デリケート製品	２.０kg以下	高	ソフト	２～５分
麻 木綿	６.０kg以下	中	標準	６～８分
	８.０kg以下	高	標準	５～１０分
汚れのひどい物 厚物	８.０kg以下	高	標準	１０～１５分
毛布	４.０kg以下	高	標準	５分

シャワー泡とり脱水

シャワー泡とり脱水は、すすぎの泡切れをよくし、すすぎ時間と水の節約ができます。

1 洗濯物を脱水槽に移し、脱水押さえぶたをはめ込む
- 脱水押さえぶたは、必ず水平に入れ、確実にセットしてください。洗濯物が飛び出してけがをすることがあります。

2 脱水槽中ぶたと、脱水槽ぶたを閉める

3 脱水タイマーを1分に合わせ、脱水する
- 一度2分以上にまわしてから、時間を1分に合わせてください。

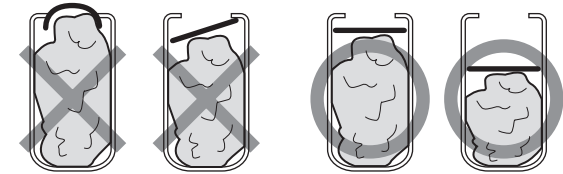
4 注水切換レバーを「脱水側」に合わせ、脱水槽ぶたを開けた状態で約1分注水する
- 水出口と脱水槽の中央に水がくるように水量を調節してください。

5 水栓を止め、注水切換レバーを「洗濯側」に合わせ、もう一度脱水する

6 脱水が終わったら、洗濯物を洗濯槽に移す

脱水押さえぶたの取りはずしかた

- 右図のように脱水押さえぶた中心の穴に指を入れ、端を引っ掛けるように曲げ、引き上げてください。

脱水押さえぶたの使いかた

脱水押さえぶたは確実に！

シャワー泡とり脱水のポイント

- 厚手の綿類などを脱水槽いっぱいに入れると、すすぎの効果が悪くなることがあります。7～8分目くらいを目安にしましょう。
- 洗濯槽の給水中に行うと水圧が下がり十分なすすぎの効果を得られないことがあります。洗濯槽の給水が終わってから行ってください。

すすぎ

ためすすぎ（水をためてすすぐ）

●ためすすぎは、水の節約になります。
すすぎの程度により、2～3回繰り返してください。

1 水流・排水切換を「標準」または「ソフト」に合わせる

2 洗濯物に応じた水位線まで注水する P6 参照

3 洗濯タイマーを「３分」に合わせ、すすぐ

すすぎのポイント

- すすぎ後、泡残りが気になる場合は、ソフト水流で1分ほど注水すすぎをしてください。泡残りを少なくすることができます。

注水すすぎ（水を注水しながらすすぐ）

1 水流・排水切換を「標準」または「ソフト」に合わせる

2 水位レバーを洗濯物に応じた水位に合わせ、注水する P6 参照
- 水圧の高い地域では水量が多くなり、脱水側にあふれ出ることがあります。その場合は、脱水側に水が出ない程度まで注水量を調節してください。

3 洗濯タイマーを「６～１２分」に合わせ、すすぐ
- 注水すすぎの水位は水位線より高くなります。（すすぎの効果を上げるために内部にあるいっ水ホースが高くなっているためです。）

脱水

1 洗濯物を脱水槽に移し、脱水押さえぶたをはめ込む

2 脱水槽中ぶたと、脱水槽ぶたを閉め、脱水する

■脱水時間の目安

洗濯物	脱水
ウール製品	３０秒
うすもの（化繊・混紡）	1分
セーター（化繊）	1～３分
毛布（化繊）	３分
下着（木綿）	３～５分
シーツ（タオル地）	５分

脱水のポイント

- くつ下やハンカチなどの小物は飛び出しを防ぐために底の方に入れましょう。
- シーツやジーンズなど重い衣類から順に入れてください。ガタガタと振動が激しくなったときは、もう一度洗濯物を入れ直してください。
- 排水と脱水を同時に行うと脱水ができないことがあります。このようなときは、脱水を始めてから約１分後に排水をしてください。

洗濯が終わったら

1 水流・排水切換を「排水」に合わせ、洗濯槽内の水を抜く

2 万一の事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜く

3 糸くずフィルターの掃除をする

上手なお洗濯

ウール製品を洗う　洗濯容量　～2.0kgまで

■ 洗濯できる衣類

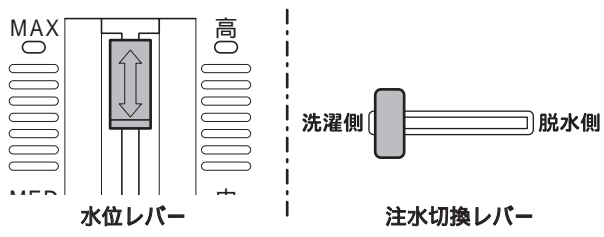
表示のあるもの

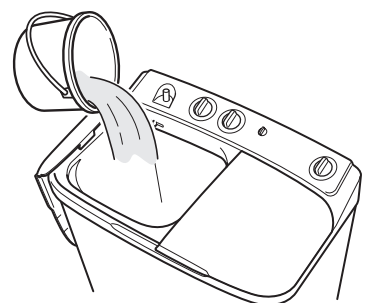
ご注意

次のものの洗濯はさけてください。

表示のある衣類、アンゴラ混やレース編み、ひきあげ編みなどの衣類

1 水流・排水切換を「ソフト」に合せる

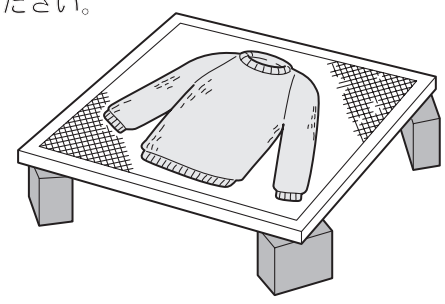
2 水位レバーを「高」に、注水切換レバーを「洗濯側」に合わせる

3 良く溶かした洗剤を入れる

- 洗剤は必ず中性洗剤を使用し、約5Lのぬるま湯（約30℃）であらかじめ十分に溶かしてから洗濯槽に入れてください。 P11 参照

4 洗濯物を入れ、下表の時間を目安に洗濯する

■ 洗濯時間の目安

水　位	高
水　流	ソフト
洗　い	２分
シャワー泡とり脱水	３０秒
注水すすぎ	２分
脱　水	３０秒

5 運転終了

- よく形を整えて、風通しの良い日陰に平干しをしてください。

洗濯のポイント

- 衣類は裏返しにしてたたみ、市販の洗濯ネットに入れてください。
- 表面にボタン、ししゅうなどのついているものは裏返してください。
- 洗濯物が浮いているときは、手で軽く押し込んでください。
- 水温が低いときは、ぬるま湯（約30℃）で洗うと汚れ落ちがよくなります。
- アンゴラ混やレース編み、引き上げ編みなどの衣類は洗濯しないでください。

毛布を洗う　洗濯容量　毛布 ～4.0kgまで　綿毛布 ～6.0kg以下まで

■ 洗濯できる毛布

表示のある綿毛布およびアクリル、または
ポリエステル100%のマイヤー・タフト毛布

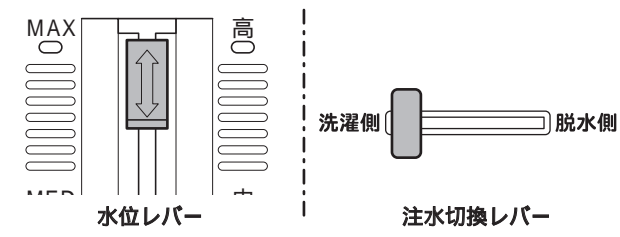
- 綿毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………1.5kg以下のもの4枚
- マイヤー・タフト毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………2.0kg以下のもの2枚

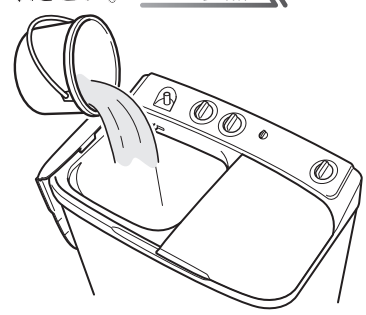
ご注意

電気毛布は、洗わないでください。

- 洗える電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従ってください。

1 水流・排水切換を「標準」に合せる

2 水位レバーを「高」に、注水切換レバーを「洗濯側」に合わせる

3 良く溶かした洗剤を入れる

- 洗剤は必ず中性洗剤を使用し、約5Lのぬるま湯（約30℃）であらかじめ十分に溶かしてから洗濯槽に入れてください。 P11 参照

4 毛布を入れ、下表の時間を目安に洗濯する

- 脱水槽に入れるときは、毛布のフチから少しずつ押さえながら入れてください。

■ 洗濯時間の目安

水　位	高
水　流	標準
洗　い	５分
シャワー泡とり脱水	１分
注水すすぎ	５分
脱　水	３分

毛布の入れかた

❶ 長い方を２つ折りにする
- 綿毛布を2枚入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

❷ さらに同じ方向に、３つ折りにする

❸ 巻く

❹ フチのある方を下にして、洗濯槽に立てて入れる

毛布洗いのポイント

- 毛布のフチなど汚れのひどい部分は、あらかじめ手でもみ洗いをしましょう。
- 洗剤を入れすぎないようにしましょう。
- 水温が低いときは、ぬるま湯（約30℃）で洗うと汚れ落ちがよくなります。

粉石けんについて

粉石けんを使うには

溶け残りを防ぐため、粉石けんはあらかじめよく溶かしてからお使いください。

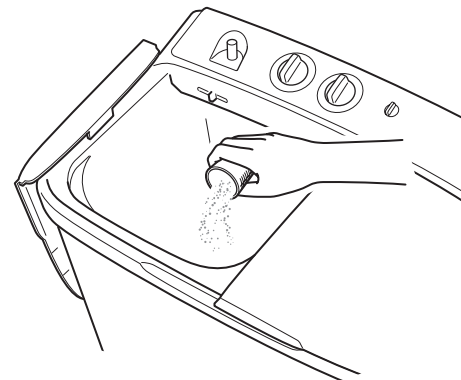
洗濯機で直接溶かす場合

1 洗濯する水位線の半分程度注水する

2 水をかくはんしながら適量の粉石けんを少しずつ入れる

3 約3分程度運転し、粉石けんが溶けたら運転を止める

4 洗濯物を入れる

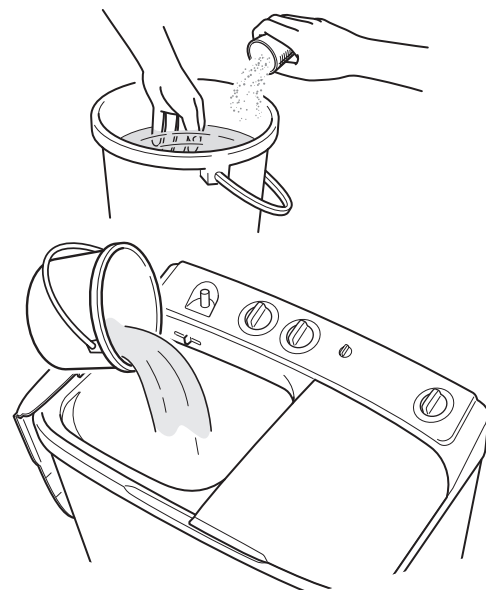
5 使用する水位まで水を追加して洗濯する

溶けにくい場合

1 バケツに30℃前後のぬるま湯を約5L用意する

2 よくかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる
- 粉石けんが残らないように、よくかき混ぜてください。

3 洗濯槽に溶かした粉石けんを入れる

4 洗濯物を入れる

5 使用する水位まで水を追加して洗濯する

ご注意

粉石けんを使用した場合は、十分にすすぎを行ってください。
- 粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみやにおいの原因になります。

粉石けんは入れすぎないようにご注意ください。
- 粉石けんの使用量が多すぎたり水温が低いと、完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや洗濯槽に付着した後にはがれて浮き上がり、洗濯物を汚すことがあります。

こんなときには

凍結のおそれがあるときは

冬場、凍結させないために…

1 水流・排水切換を「排水」に合わせ、洗濯槽内の水を抜く

2 洗濯槽内の水が抜けてから、水流・排水切換を「標準」または「ソフト」に合わせる

凍結してしまったときは…

1 約1Lの温水（50℃未満）を洗濯槽に入れ、約10分間放置する

2 手でパルセータが回ることを確認する

3 水流・排水切換を「排水」に合わせ、排水することを確認する

お手入れ

お手入れのしかた

⚠警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない

- 感電やケガをするおそれがあります。

プラグを抜く

ぬれ手禁止

⚠注意

本体各部に直接水をかけない

- ショート・感電のおそれがあります。

水ぬれ禁止

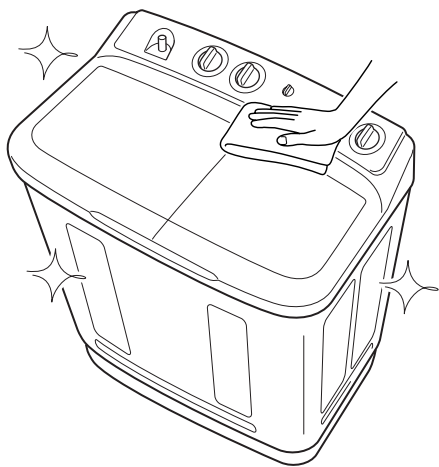
揮発性のものは使わない

- 揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）を使用すると、変形や割れが発生することがあります。

禁止

本体

よく絞ったやわらかい布で拭く

- 汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取ってください。中性洗剤を使用した後はよく水拭きをし、さらに乾いた布で拭いてください。

ご注意
化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

糸くずフィルター

外して水洗いする

- 外して、水中で水洗いしてください。

■ 糸くずフィルターの外し方

1. ツマミを持ち、糸くずフィルターを上に引き上げて外す
2. カバーを外す
   - カバー下部を図のように持ち上げ、手前に引くと外すことができます。

3. 水洗いする
4. 取り外しと逆の手順で、元どおり取り付ける

電源コード・プラグの安全点検

- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
- 電源プラグがコンセントに根本まで確実に差し込まれていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグの刃及び刃の取付け面にホコリが付着していませんか？

仕様

項目	仕様
種類	二槽式電気洗濯機
電源	100V　50 - 60Hz共用
標準洗濯容量	8.0kg（乾燥布質量）
標準脱水容量	6.0kg（乾燥布質量）
洗濯方式	うず巻式
洗濯機定格消費電力	260W / 320W（50Hz / 60Hz）
脱水機定格消費電力	120W / 150W（50Hz / 60Hz）
標準水量	70L / 60L / 50L（高 / 中 / 低）
外形寸法	幅 820mm × 奥行き 465mm × 高さ 995mm
質量	28.5kg

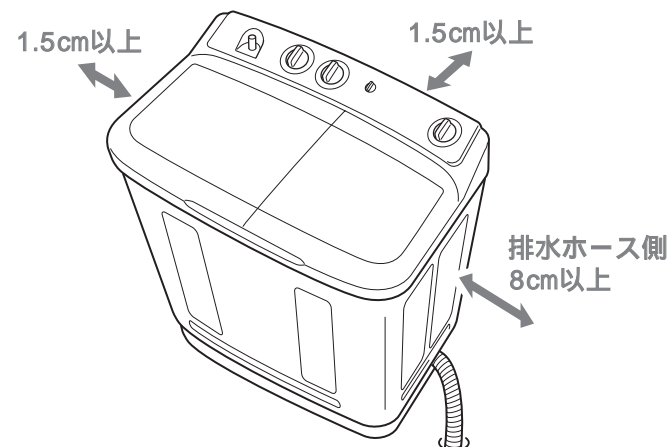
- 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

据え付け

お願い
- 据え付け前は、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 据え付け後は、必ず試運転を行い、水もれや異常音が発生しないか確認してください。

据え付けについて

据え付け場所

- 床が丈夫で水平なところ
- 湿気の少ないところ
  浴室には絶対に据え付けないでください。
- 冬期に凍結のおそれのないところ
- 給水・排水の便利なところ
- 雨、直射日光のあたらないところ

本体は排水ホース側を壁から8cm以上、反対側および裏側は壁から1.5cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。

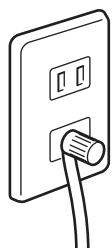
アースについて

⚠警告

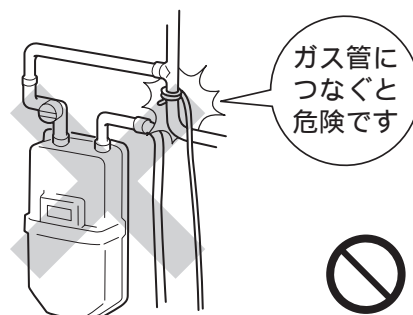
必ず、アースをしてください
- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

■アース工事について

- 安全にご使用いただくため、D種（第3種）接地工事が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。（接地工事は電気工事士の資格が必要です。）

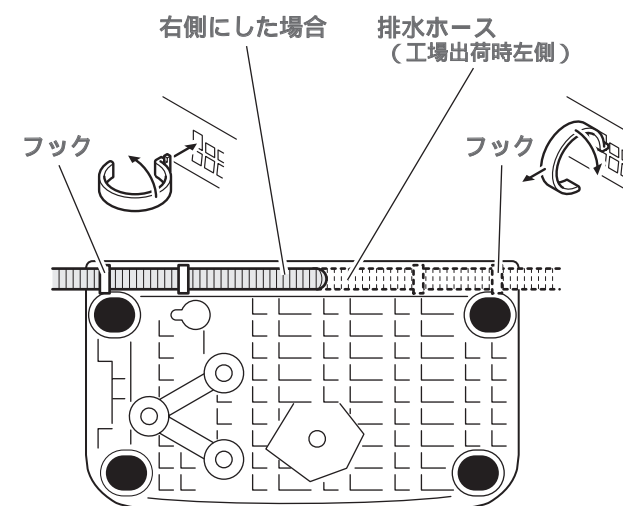
■コンセントにアース端子があるとき

アースの先端を確実にアース端子に接続してください。

次の場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

- **ガス管**‥‥爆発や引火の危険性があります。
- **水道管**‥‥プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- **避雷針・電話のアース線**‥‥落雷のときに大電流が流れ危険です。

排水ホース

付け換え

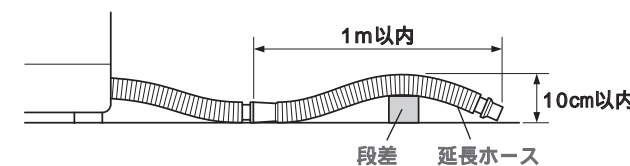
- 工場出荷時は排水ホースが左側にセットされています。右側に付け換える場合は、下記手順で付け換えてください。

1. **前面が下になるように、毛布や段ボールの上に倒す**
2. **排水ホースとフックを外し、図のように右側にセットし直す**

本体底面から見た図

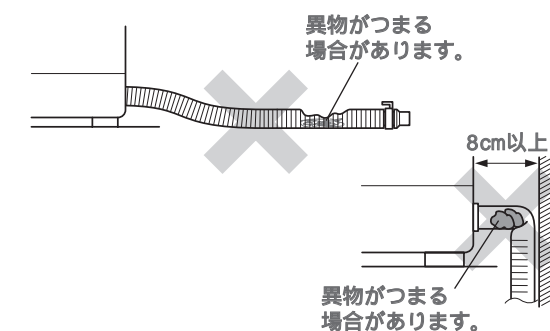
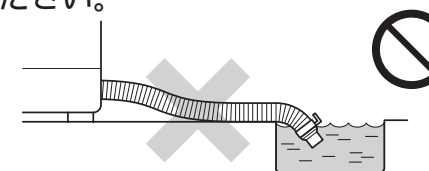
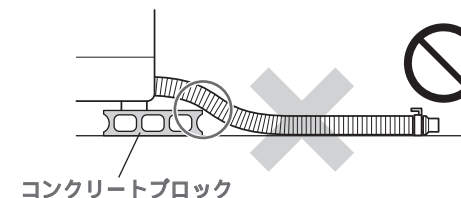
⚠注意

排水ホースの付け換えは、必ず手袋をする
- ケガをするおそれがあります。

ホースを延長する場合

- お買い上げの販売店にて「排水ホース延長キット」をご購入ください。
- 排水ホースの長さ、敷居を越える場合の高さは下表に従ってください。

ホースの状態	ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	１０cm以内	1ｍ以内
途中で高くならない場合	―	2ｍ以内

据え付け時の注意

- ホースをつぶさないようにしてください。

- ホースの先が下水口の水につからないようにしてください。

- ホースのこすれに注意してください。

別売部品

ご要望の際は、お買上げの販売店または別紙「お客様修理ご相談窓口」記載の各修理相談窓口へご相談ください。

排水ホース延長キット 1m
排水ホースを延長するときに使用します。
希望小売価格　1,575円（税込）

排水ホース延長キット 2m
排水ホースを延長するときに使用します。
希望小売価格　1,785円（税込）

糸くずフィルター
ネットが破れたときに交換します。
希望小売価格　630円（税込）

※価格は予告なく改定されることがあります。ご了承ください。

故障かなと思ったら

以下の点をお調べになり、それでも具合の悪いときは、お買上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	おたしかめください（原因）
運転しない	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差込んでいますか？ ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ● 停電ではありませんか？
排水しない	● 排水ホースを本体から倒していますか？ ● 排水ホースがつぶれていませんか？ ● 排水の位置が高くなっていませんか？ ● 排水ホースの口がふさがれていませんか？ ● 排水ホースの先端が水につかっていませんか？
脱水しない	● 洗濯物が片寄っていませんか？ ● 洗濯・脱水槽の排水口に異物が詰まっていませんか？ ● 脱水運転を連続で繰り返していませんか？（モーター保護のため安全装置が働き一時停止します。約15分間放置し、再脱水してください。）
異常音がする 振動が大きい	● 洗濯機の据え付けが傾いていたり、がたついたりしていませんか？ ● マッチ棒やヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか？ ● 電源コードやアース線、給水ホースのたるみが洗濯機に当っていませんか？ 脱水の振動で音が大きくなることがあります。

■下記のような場合は故障ではありません。

初めて使用するときに 排水ホースから水が出る	● 工場の性能テスト時の残水です。
短時間のタイマー設定をしたとき タイマーが正常に働かない	● 短時間のタイマー設定は、まず「洗濯タイマー」の場合は6分以上、「脱水タイマー」の場合は2分以上まで回し、その後ご希望の時間まで戻してください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げ日から本体1年間
（ただし、糸くずフィルターは消耗品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。）

修理を依頼されるとき

17ページの表に従ってご確認してください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。なお、衣服の補償など、製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、洗濯機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。（注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客さまご相談窓口

■まずは、お買い上げの販売店へ…
家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談
＜お客さまセンター＞

総合相談窓口：0120-865-812
受付時間　365日　9:00〜18:30

※FAXでご相談される場合
お客さまセンター：0570-013-791
（ナビダイヤルでおつなぎします。全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。）

商品の修理サービスについてのご相談

修理相談窓口：0120-982-540
受付時間　月曜日 〜 金曜日　9:00〜18:30
土曜・日曜・祝日　9:00〜17:30

※上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

愛情点検　★長年ご使用の『洗濯機』の点検を！

このような症状はありませんか？
● 電源コード、プラグが異常に熱い
● 電源コードに深いキズや変形がある
● 焦げくさいにおいがする
● 運転中に異常な音や振動がする
● 洗濯機に触れるとビリビリ電気を感じる
● その他異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。